

9.17千葉市集会がちとる

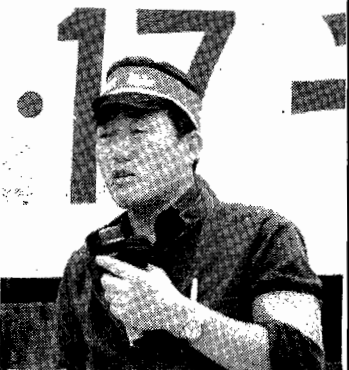
農民殺しの土地取り上げを許さないぞ!
10、22三里塚農民の檄
に答えよう。



九月十七日、秋の気配が感じとられるとはいえ、まだ暑さが残るなか、千葉市みなと公園において「土地収用委員会再任命阻止! 三里塚二期工事が反対同盟の主催によって行なわれた。集会には、反対同盟、関西新空港反対淡路反対

期成同盟の安藤氏や婦人民主クラブ、部落解放同盟長野県連三地区協青年部、東京都議長谷川英憲氏、東京実行委、寄せ場と三里塚を闘う労働者の会、そして動労水戸などをはじめ、たまたか諸団体、人士が八四五名結集し、「千葉県議会の収用委員再任命を許さない」決意を固めた。

反対同盟、「土地収用」と対決宣言



集会は、司会の婦人行動隊の宮本さんのあいさつで始まり、開会宣言を三浦五郎氏、基調報告を北原事務局長が行なった。北原氏は「本日の集会は九月十四日(十月三日まで行なわれている千葉県議会を見据えて行なわれている。反対同盟はこの集会に先だつて県議会の傍聴を行った。しかし、県議会はガードマンを配置し、まるで軍事裁判のようであった。傍聴席は二七〇名入れるにもかかわらず三〇名しか入れない。県民が県議会のことを知ることは当り前だ。こうした弾圧を許さない。今から十八年前、農民殺しの代執行が収用委員会の決定によって行なわれた。土地収用委員会をわれわれは断じて認める訳にはいかない」「政府・公団は『話し合い』による土地収奪を考えているが、二期用地内は軒先まで工事が迫っている。こ

れで『話し合い』が出来る訳がない」と敵の攻撃の非道性を弾劾し、「全国の反戦、反基地、反原発をたたかう人々に呼びかけ断固たたかひぬく」と報告した。北原事務局長の基調報告を受け、反対同盟萩原事務局長がこの間、反対同盟がたたかってきた千葉県内各地の宣伝行動、県議会傍聴行動の報告を行ない、加えて「県知事沼田は『(収用委員会再任命については)今回はまだ条件が整っていない』と言っている。しかし、三里塚の歴史を見る時、岩山大鉄塔の破壊も大木よねに対する強制収用もみんなだましようちである。このにがい思いを二度としない。今、三里塚にとつても、動労千葉にとつても、関西にとつても重要な天王山をむかえている。三里塚、動労千葉のよういたたかおうということを示しぬいてたたかおう」と報告した。

続いて、弁護士を代表し、葉山弁護団長の報告、反対同盟の決意として敷地内の市東さん、婦人行動隊の郡司さんの決意、住民団体などの連帯のあいさつを受け、行動提起と団結ガンバローを青年行動隊の宮本さんが行なった。

集会終了後、参加者は、千葉県庁に向けてデモに出発、「農民殺しの土地取り上げを阻止しよう」と千葉県民に訴えてきた。

三里塚闘争は

最大の正念場に

いま、三里塚現地は、最大の正念場を迎えている。九月一日に政府・公団は「成田治安立法をもって支援の団結小屋を撤去する」と発表し、さらに、来年度政府予算の概算要求では過去最高の要求額を提示した。敷地内の農民の家を有刺鉄線で囲み、「早く出ていけ」といわんばかりの重圧をかけている。われわれは、三里塚をはじめ、危機に立つ日帝の凶暴な攻撃と対決してたたかう人々と連帯し、秋から年末のたたかひに決起していこう!

第十六回定期大会の成功をかちとるぞ!

全組合員が血を流し、涙を流し、そして勝利した10年!